

「富島宮城」実現へまい進

新年当初予算など可決

第375回宮城県議会(2月定例会)は、平成28年2月16日から3月15日まで29日間の会期が開かれた。総額1兆3744億円の28年度一般会計当初予算案など計176議案を原案通り可決した。28年度は23年度から10年間の復興復興計画の後半5年間の最初の1年となる。提案理由説明で村井嘉浩知事は「富島宮城」の実現を引き続き強力に推進し、地方創生や災害に強い県土づくり、貧困や障害などさまざまな困難を抱えている人々への支援にも重点的に取り組む」と強調した。代表質問や一般質問では、創造的復興5年間の総括や防災集団移転促進事業の状況、仙台空港民営化に伴う運用時間のあり方などについて活発な議論を交わした。

復興の姿世界へ発信

知事生活再建に全力注ぐ

震災復興に関しては、知っている。一方、災害公営住宅の整備や防災集団移転促進事業などのまちづくりの5年間の総括と、新年度から国の定める「復興・創生期間」における県の果たす方向性などについて議員から質問が相次いだ。知事は、仙台空港民営化、医学部新設など将来を見据えた取り組みも含め、震災復興は着実に進んだと評価を述べた。

県税の軽減を検討

防災集団移転二元地の交換で

防災集団移転促進事業にきりまちを積極的に支援している地区もある。この認識を示し、「事業用地の集約・確保を推進するため復興庁の支援施策を踏まえ、引き続き段階において、県の各部署が連携して事業調整などの支援を行う。土地の交換時に課税される不動産取得税(県税)の軽減も併せて検討を進める」と話した。

県の積極対応を要望

知事「市町村長会議で議論」

福島第一原発事故で発生した指定廃棄物の処理をめぐって、議員からは処理の進展に向けた県の積極的な対応を求める質問が相次いだ。知事は、再検査で、県内の指定廃棄物の約3分の2が放射性物質濃度の指定基準である1μ当たり8千ベクレル以下となり、指定基準を下回ったものは一般廃棄物として地元自治体などで処分する」という国の処理方針を示した。市町村長会議で議論していくと話した。

被災者の医療費免除

継続を要望

被災者から5年を経過しての課題として、議員から「被災者の医療費免除を継続するかどうかの判断は、市の財政状況に左右されている。被災者負担に差が生じることのないよう、県が支援策を講じるべきだ」との要望があった。知事は、「国保医療費の

「運用時間の拡大を」

新規就航促進へ重要課題

7月に完全民営化される仙台空港の利用促進に向け、議員から「運用時間の拡大は、民営化成功のための大きな課題。周辺住民や自治体との関係もあるが、県としてどう取り組むのか」との質問があった。外



7月からの完全民営化を控える仙台空港。東北の空の玄関口として利用者拡大に向けた施策が期待される

子育て支援

対策の拡充を要望

知事は「乳幼児医療費助成制度は、国が責任をもって対応すべきと考えており、県と全国知事会で国に新たな子ども医療費助成制度創設を強く要望している」と回答した。

大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、1月下旬から2月上旬にかけて、沿岸部8つの被災市町と丸森町に出向き、各市町議会議員と復旧・復興に係る諸課題等について意見交換を行った。登米市等で現地調査を行った。

議決した議案等

北朝鮮による四度目の核実験と事実上の「弾道ミサイル」発射に抗議する決議
環太平洋パートナーシップ(TPP)協定に関する意見書
医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書
寡婦控除の適用対象を未婚の母子世帯まで拡大することを求める意見書
児童虐待防止対策の抜本的強化を求める意見書
主権者教育の確立と投票機会の拡充を求める意見書
奨学金制度の拡充等を求める意見書
北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決のために、法の趣旨の徹底等を求める意見書
外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の制定を求める意見書

議決した議案等

可決・同意した 知事提出議案<167件>
平成28年度宮城県一般会計予算
附帯意見「被災地の産業再生にかかわる各種制度等の運用に当たっては、被災地の現状に即して柔軟に対応するとともに、引き続き、さらなる制度の拡充や弾力的な運用を国に求めていくこと」
がん登録情報利用等審議会条例
工事請負契約の締結について(気仙沼漁港防波堤新築工事)
副知事の選任につき同意を求めることについて

採択した請願<1件>
9・11豪雨災害に関することについて
※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

代表質問(3人)
中島源陽(自由民主党・県民会議) 創造的復興の現状と展望について、本県における地方創生について他▽藤原のりすけ(みやぎ県民の声)重要政策と知事への期待について、少子化時代の成長戦略について他▽遠藤伸幸(公明党県議団)被災者の生活再建を最優先で進めること、知事の県政運営の基本点について他
○一般質問(18人)
○菊地寛一(自由民主党・県民会議) 仙台空港民営化後の課題について、宮城県とベトナムの交流について他▽佐々木幸士(自由民主党・みやぎ県民の声)女川原発安全性に関する検討会について、平和行政と平和教育について他▽仁田和廣

一部負担免除を実施するかどうかは、住民に最も身近な自治体である市町村が総合的に判断したものと「県としては医療費免除に対する支援は行わない」と断言した。ただ、震災の影響などで国保財政が厳しい市町村もあることから、そういう自治体に対して知事は「県の調整交付金を活用した支援を検討する」との考えも示した。

最悪処分場問題の解決に向けて、茨城県のような分散型管を選択肢の一つにする提案などもあった。知事は分散型管については「茨城県は放射能濃度が低いものや焼却灰など性状が安定した指定廃棄物が多い。我が県の指定廃棄物は、茨城県よりも放射能濃度が高く、焼却などを行えば、再び放射性物質濃度が上昇し、基準値を超える可能性がある。茨城方式をそのまま我が県に当てはめることは難しい」と難色を示した。

保健福祉部長は「来年度は先進事例調査や県内実施団体の実態を把握し、必要な支援について検討し、この取り組みが県内でも広がるよう、実施団体の擁護(こしにも努める)」と前向きな姿勢を示した。

農業に及ぼす影響について、子供の不登校いじめ体質づくり、貧困他▽石川利一(自由民主党・県民会議) 大震災復興・復興まちづくりについて、2025年問題について▽大内真理(日本共産党宮城県議員団)福祉労働者の処遇改善と育成について、被災者が主人公となる復興について他▽藤原のりすけ(みやぎ県民の声)仙台市連携による音楽ホール整備を視野に医療の推進について他▽角野達也(日本共産党宮城県議員団)私学助成の拡大と35人以下学級の拡充、伊藤財政和博(公明党県議団)交通安全対策について、県産材の有効活用について他

減災対策、子育て対策と青年クアータリ導入の諸課題について、仙台市の振興について他▽渡辺勝幸(自由民主党・県民会議) 復興・創生期間における方向性について、広瀬川の河川管理について他▽高橋啓(みやぎ県民の声)TPPとそのリスクへの対応について、指定廃棄物の安全な処分について他▽深谷祐(自由民主党・県民会議) 家庭教育支援について
▽熊谷義彦(自由民主党)放射能汚染(汚染)の拡散問題(▽齋藤正美(自由民主党)有機農業の推進について、安定ヨウ素剤の配布について他▽太田裕郎(みやぎ県民の声)TPPが宮城

質問者と主な質問項目
谷祐(自由民主党・県民会議) 家庭教育支援について
熊谷義彦(自由民主党)放射能汚染(汚染)の拡散問題(▽齋藤正美(自由民主党)有機農業の推進について、安定ヨウ素剤の配布について他▽太田裕郎(みやぎ県民の声)TPPが宮城

予算特別委員会
3月2日、3日の両日、委員13人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成28年度宮城県一般会計予算等を可決した。
総括質疑者 渥美巖、畠山和純、村上智行、佐々木幸士、庄田圭佑、細川雄一(自由民主党・県民会議)、ゆさみゆき、鎌田さゆり(みやぎ県民の声)、天下みゆき(日本共産党宮城県議員団)、遠藤伸幸(公明党県議団)、岸田清美(社民党県議団)、菅間進(無所属の会)、吉川寛康(21世紀クラブ)

保健福祉委員会
審査議案等 国民健康保険財政安定化基金条例など17議案及び請願2件
経済商工観光委員会
審査議案 緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例など2議案
建設企業委員会
審査議案 工事請負契約の締結について(花浜地区海岸護岸等災害復旧工事)など48議案
文教警察委員会
審査議案等 文化財保護条例の一部を改正する条例など6議案及び請願3件

議会改革推進会議
2月定例会中に委員が指名され、3月15日第1回目の会議において正副委員長が選任された。
◎委員長 ○副委員長 ◎安藤俊威(自由民主党・県民会議)、○藤原のりすけ(みやぎ県民の声)、藤倉知格(自由民主党・県

大震災復興調査特別委員会
大震災復興調査特別委員会は、1月下旬から2月上旬にかけて、沿岸部8つの被災市町と丸森町に出向き、各市町議会議員と復旧・復興に係る諸課題等について意見交換を行った。登米市等で現地調査を行った。



大震災復興調査特別委員会は、1月下旬から2月上旬にかけて、沿岸部8つの被災市町と丸森町に出向き、各市町議会議員と復旧・復興に係る諸課題等について意見交換を行った。登米市等で現地調査を行った。

議長記者会見
2月定例会閉会日の3月15日、安部孝義議長が記者会見を行った。2月定例会を振り返って安部議長は「東日本大震災から5年が経ち、3度目となるみやぎ鎮魂の日を迎えた。東日本大震災の犠牲となられた方々を追悼するとともに

県議会からのお知らせ
●ラウンジコンサート
県議会では、年4回の定例会閉会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時/平成28年6月15日(水)午後0時15分~45分

「みやぎ県議会だより」へのご意見・感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号
TEL022(211)3592 FAX022(211)3598
Eメール gtyosas@pref.miyagi.jp